

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 13 日

事業名称		契約事務費[契約事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	2			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	契約検査（総務管財）			課	契約	係	課長名	長瀬 正人			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2				
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市が締結する一定金額以上の契約				契約締結件数						
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	公正・公平で競争性があり、良好な履行の確保				業者都合の理由により途中解除となった契約の数						
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	競争による契約する案件については、指名基準等に基づき適切に業者の選定等を行う。また、一者特命による案件については、その理由が適切なものか確認する。				契約締結件数						
	→										
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
対象指標	①の数値	件	459	464	487						
成果指標	②の数値	件	0.0	0.0	3.0						
目標	②の目標値	件	0	0	0		0	0			
	目標値設定の考え方 途中解除のない円滑な契約履行を確保する。										
活動指標	③の数値	件	459	464	487						
3 経費	事業費(実績)		円	1,168,909	1,261,740	2,298,408		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	1,168,909	1,261,740	2,298,408					
		特定財源(国・都・他)	円			0					
		(うち受益者負担)	円			0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	24,930,000	25,140,000	24,750,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	26,098,909	26,401,740	27,048,408						
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成30年度 以前									
	(2) 環境の変化	入札制度の多様化が occurring。									

事業名称	契約事務費[契約事務]			
担当部署・課長名	契約検査（総務管財）	課	契約	係
			課長名	長瀬 正人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	市内業者への優先発注要望等。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。	
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 総合評価方式の導入	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 「東大和市総合評価方式実施ガイドライン」を作成し、令和4年度より試行運用を開始することとした。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 総合評価方式の運用	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 試験導入する総合評価方式について、適切な運用を行う。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・他自治体の運用状況の確認。 ・運用するに当たっての必要書類等の整理。 ・本格実施とする場合は、規則改正等の環境整備を行う。	